

## リミニ

ミラノ周辺は天気が悪いので、なるべくミラノから遠いところなら天気も良いのではないかと思い、ボローニャから列車で1時間半強のアドリア海に面したリミニまで行ってきました。でも、残念ながら、今日も太陽を見ることが出来ませんでした。でも、気温はミラノより3,4度高かったようです。リミニは「地球の歩き方」に入っていません。サン・マリノへの玄関口の街として紹介されているだけです。でも、街を3時間半も歩き回りましたが、それでも、全然足りないくらいの見どころ満載の街でした。「地球の歩き方」は大事な街を見落としているよ、と忠告してあげたいくらいです。

有名な、“賽は投げられた”は、シーザーがルビコン川を渡ったときに言った言葉です。このルビコン川はリミニの北にあります。この前に行ったラヴェンナの南に位置し、ピアチェンツァからボローニャを通過して、エミリア・ロマーニャ州を横断する列車の終点の駅で、アドリア海に面した大きな街です。シーザーの話にもあるように、ローマ軍のガリア遠征集積地として栄えていたリミニは、ラヴェンナと並んでローマ時代からの古い街なのです。その後、ゴート族、東ローマ帝国支配の後、マラテスタ家の支配が16世紀まで続き、この時代にリミニは繁栄しました。その後、ローマ教皇の直轄領となり、それからは他の北イタリア都市と同じような経路で現在に至っています。同時に、19世紀には、御殿のような別荘のあるリゾート地として有名となり、グランドホテル建設がそれに拍車をかけました。現在でも、ここはリミニ・リビエラとしてイタリアの巨大観光地であり、夏には海水浴客であふれているようです。

この街の観光スポットも、この町の歴史に沿って、ローマ時代の遺跡から始まり、中世初期と中世の教会、中世と近代の城と宮殿と幅広いものです。今回全部を見ることは出来ませんでしたが、訪ねた順番に紹介します。駅に到着したのが11時だったので、まず、教会に行く事にしました。12時過ぎには教会は閉まってしまうからです。

最初の教会は、15世紀に建てられたマラテスティアーノ寺院（Tempio Malatestiano）です。ここは、現在、リミニのドゥオモに当たる大聖堂で正式名はサンタコロンバ大聖堂と言います。ゴシック建築みtainなルネッサンス建築で、教会としてはちょっと変わった大理石のファサードですが、中に入るとミサをやっていましたが普通の教会でした。天井は木造ですので、立派な大聖堂という程ではありませんが、雰囲気の良い好きなタイプの教会です。何故、Chiesaではなく、Tempioと言われているのか不思議ですよね。そこで、調べてみると、ここには9世紀に建てられた教会があつて、15世紀に、リミニで最も有名な領主であったシスモンド・マラテスタがその教会をマラテスタ家の聖廟にする為に改修工事を始めました。しかし、シスモンドは、その当時リミニを教皇領にしようと企んでいたローマ教皇ピウス2世と対立していた為、十字架などのカトリックのシンボルをこの教会から全て取り去ってしまいました。それを見て、ピウス2世は悪魔崇拝の場であると言ったそうです。要するに、ピウス2世によってローマン・カトリックから排除されてしまったのです。もう一度この教会を見ると、確かに、このファサードには十字架や聖人の彫り物が全くありません。それに、ファサードはまるで墓石のようです。その後、この改修工事の完成を見ずにシスモンドは亡くなり、シスモンドの後継者はピウス2世によってリミニの大部分を奪われてしまい、この改修工事も最後まで完成する事はありませんでした。もともとシスモンド・マラテスタは勇敢な教皇派の将軍として素晴らしい戦果をあげて活躍していたにも関わらず、ピウス2世にその活躍を妬まれたあげく対立したのです。ある意味、彼はリミニの英雄なのでしょうね。



次の教会は、サン・ジョヴァンニ・バッティスタ教会でしたが、ここは、リミニの古い城壁の外になりますので、ローマ時代のアウグストゥス門とその一体にある古代城壁のある公園を通ります。従って、教会に行く前にここで足止めせざるを得ませんでした。アウグストゥス門は紀元前 27 年頃建設された高さ 9.92m、幅 8.45m の門です。門をくぐると、街を取り囲む古代城壁があり、その周りにはきれいな公園となっています。もっと、ここで見ていたい衝動を抑えながら、サン・ジョヴァンニ・バッティスタ教会に向かいました。



サン・ジョヴァンニ・バッティスタ教会は 12 世紀に建てられたロマネスク建築のシンプルな教会ですが、(ここもちょうどミサの時間でしたが) 内部の天井書かれたフレスコ画が実に見事でした。



もう一つの有名なサンタゴスティーノ教会まで12時前にもぐりこめそうなので、急いで向かいました。この教会は13世紀に建てられたもので、ロマネスクからゴシックへ移行している建築様式とのこと。一見ロマネスクのようにシンプルな教会でした。ちょうどミサの終わった時間でもあり、この教会は中までじっくりと見学する事が出来ました。



ここまでは急ぎ足で進んでいた為1時間半しかかかっていません。次は、ローマ時代紀元21年に建てられたティベリオ橋です。この橋は今も現役で使われていて、一方通行ですが頻繁に車が通っています。ローマ人はずいぶん頑丈な橋を造ったのですね。橋を渡ったあたりは公園になっていて、そこからのリミニの街はとてもきれいです。晴れてれば、もっと良いでしょうね。それだけが残念です。



次は、お城です。シスモンド城と言って、あのシスモンド・マラテスタの居城で15世紀に建てられています。それほど大きなお城ではありませんが、砦のようにしっかりと防衛できるような戦闘に適

したお城です。この中ではいつもいろいろな催し物をやっているようで、今回は、レンブラント・ゴーガン・ピカソの展示をやっていました。どうりで、駐車場が混んでいた理由がわかりました。お城の入口は入場制限をされていて長蛇の列でした。並ばないと中に入れないので一応列に加わったのですが、少なくとも15分くらいはかかりそうです。これでは、時間ももったいないので、お城への入場は諦めるしかありません。後ろ髪を引かれながら、潔く諦めて、カヴール広場へと移動しました。でも、その諦めが良かったのかもしれません。リミニには、まだまだ、見るところは一杯ありました。



お城の直ぐ先には街の中心であるカヴール広場があります。この広場にはローマ教皇パウロ4世の像と16世紀中ごろの円形のピーニャ噴水があり、周りにはアレンゴ宮殿、新古典派のアミントレ劇場、旧魚市場、タウンホールなど、趣のある建物が並んで建てられています。時間がなくていけませんでした、リミニのツアー・インフォメーションもここにあります。



カヴール広場から南に 100 メートルほど行くと、こんどはトレ・マルティリ広場があります。ここは、ローマ時代のフォロがあった場所で、シーザーが命令して建てた円柱もここで見つかったとのこと。広場の一部を掘り下げていて、ローマ時代のフォロの遺跡や古い教会の土台を見ることも出来ます。北イタリアでは、街にある像は、ヴィットリオ・エマヌエル II やガリバルディ将軍又は聖人と相場が決まっていますが、この広場には珍しくシーザーの像がありました。像のところには何も書いてなかったのですが、一緒に見ていたイタリア人の観光客が“チェッザレ”と言っていたのでシーザーに間違いありません。これも、シーザーがリミニの街に所縁があることを強調するためなのでしょう。この若き日のシーザーは、きっと、“賽は投げられた”と言っているのだと思います。ここは、広くて気持ちの良い広場です。カフェやお店もいっぱいあります。南の方向に目を移すと、先ほどのアウグストゥス門が見えます。従って、これで、街を一回りしたことになります。



でも、リミニの街はこれではまだ終わりません。ここから少しはなれたところにあるローマ時代の円形闘技場の遺跡を見に行ったのですが、そこは幼稚園が併設してあって、遺跡の近くまではいけません。裏からも遺跡に近づいたのですが、そちらの扉は鍵がかかっていました。でも、外側からでも遺跡を見ることは可能です。その後は、いよいよ楽しみにしていた博物館です。この博物館は、小さいけれど充実しているとネットに書いてありました。確かに、その通りで、1階にはローマ時代、2階が13世紀まで、3階がそれ以降と、素人でもわかりやすく分類されています。それに、博物館の直ぐ隣には、発掘中のローマ時代の邸宅の遺跡がありそこも一緒に見る事が出来ます。しかも、写真は撮り放題です。もう一つおまけに、この日は何故か入場料が無料でした。唯一の問題は、この時点で、帰りの列車の時間が迫っていたことです。あと1時間で列車の出発時刻です。それに乗り遅れると予約してあるボローニャからのユーロスターに乗れません。そんなときに限って、博物館の人た

ちがものすごく親切でいろいろと説明してくれるのです（英語です）。そんな環境でも、がんばってちゃんと全部見て来ました。でも、もっとじっくり見たかったのが本音です。博物館は、遺跡の一部、彫刻、絵画、フレスコ画等が時代ごとに展示されています。



もっと、時間があれば、グランドホテルや海も見ることが出来ただろうし、近くにあるサン・ジュリアーノ・マルティーレ教会のある小さな村、ヴィセルバにあるミニチュアイタリアや、サン・アルカンジェロ・ディ・ロマーニアという古い村までも足を伸ばすことが出来たかもしれません。まだまだ見るところはあるのですが、そこまでは全く届きませんでした。リミニには、又来ないといけません。今度こそ、太陽が輝いているときに来たいものです。「地球の歩き方」には騙されないようにしてください。リミニは、1級の観光地です。

さて、リミニに行くには列車に乗るしかありませんが、いつもの普通列車に乗るとピアチェンツァかパルマで乗り換えるしかありません。今年の春までは、ロゴレドからリミニまで直通の普通列車がありました。でも、いつの間にかなくなりました。でも、パルマからリミニまででも2時間30～45分かかりますので、普通列車ですと最短でもロゴレドから4時間はかかります。これでは、日帰りも出来ませんので、やはり、今回はボローニャまでユーロスター（片道41ユーロ）で行って、ボローニャから普通列車でリミニへと行きました。ボローニャからは普通列車で1時間35分程、料金は片道7.8ユーロです。ボローニャでの接続も良く（20分以内の待ち時間）で、ミラノ中央駅から2時間45分ほどでリミニに到着します。帰りも同じルートで帰りました。便利なのは、ミラノ中央駅の自動販売機で帰りまでの全チケットが買えることです。最近、バンコマットで買うので、あの“おせっかいさん”も寄ってこなくなりました。この前の一喝をまだ覚えているのかもしれませんがね。